

小金井市児童発達支援センター巡回相談 きらきらサポート中間報告  
【第2回運営協議会報告資料】

- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大状況から、年度当初の具体的な準備、実施は見合わせた。訪問回数を昨年度より1回減らして実施。

- ◆ 概要

- ・ 申込締切り 9月18日 …申込園 11園  
うち、7園が昨年度も応募(2園:実施、5園落選)
- ・ 昨年度実施園以外を抽選し、8園に決定、9月下旬に日程調整。
- ・ 9月30日より各園に事前打ち合わせのため訪問。
- ・ 10月中に1回目をスタートするよう調整し実施(園の都合で1園は11月～)。
- ・ 行動観察をもとに、カンファレンスで「具体的な工夫」を考え、しばらく実践していただいた後、子どもの姿について記録をいただき、という流れを繰り返す。課題の共有、取り組みの連続性を意識するため、一定の書式を利用している。

- ◆ 現在の状況

- ・ 1回目に向けての相談内容は、「他児とのコミュニケーションのとり方・関わり方」「人とのやり取りの理解」「大きな声が出る」「切り替えが苦手」「人との関わり方が激しい」「かんしゃく」「集団への参加が苦手」「集まりで着席が苦手」「人見知りが強い」「食事の偏り」「食事の食べ方」「発達に配慮しながらのクラス運営の仕方・工夫」など。
- ・ 1回目を経て、園の先生方と担当心理士が課題や視点を整理し、「具体的な工夫」のもとに取り組んでいるところ。
- ・ 2回目に向けて振り返りが終わった園からは取り組んでみて成果を感じた点や、様子が変わらず引き続き検討したい点などがあがっている。

- ◆ 課題等

- ・ 事前打ち合わせやカンファレンスへ出席する先生方の調整にご苦労されている園もある(そのような中、工夫してくださる園も多い)。
- ・ 園の行事や研修などで、実施日の調整に時間を要した場合があった。
- ・ 今年度は昨年度より訪問回数が1回少ないため、担当心理士のリードのもと、短期間で取り組みをまとめていく必要がある。

- ◆ 今後の予定

- ・ 12月～1月までに3回の訪問を終え、1月～2月に各園でまとめの会を予定。その後各園で実践報告書の原稿をまとめていただく。